

コミュニティ政策学会 2018年度シンポジウムのご案内

「人口減少時代『地域力』を高めるコミュニティのありかたと担い手とは？」

都市・地域が厳しい人口減少と縮小を迎えている現在、コミュニティ政策は、何をみつめるのか。中国地方、また全国の地方都市および中山間地域のコミュニティが厳しい人口減少・地域縮小に直面している今、一方で弱っているコミュニティについて懸念の声があるとともに、他方で弱ってはいるけれども回復するコミュニティがあることの可能性を指摘する声もある。

流動化を迎えているこの時に、地域コミュニティを再生する「地域力」をどのように高めたらよいのだろうか？ 人々の生活をささえる「自給圏」「生活圏」を維持し、また新たに作り出すには、どのように「地域力」(資源力+自治力+内発発展力)を維持・回復し、生み出すことができるのか？ 何がカギとなるのか？ 今後の地域社会のありかたにむけての、根底的な問いにむけて、5つのケーススタディ(参考とするコミュニティ)を基に考える。

日時： 2018年12月22日(土)

受付開始	12:00 ~ 13:00
開会式	13:00 ~ 13:30
シンポジウム	13:30 ~ 17:00
交流会	17:30 ~ 19:00

会場： 福山市立大学 (広島県福山市港町2丁目19-1)

主催： コミュニティ政策学会

後援： 広島県(予定)、福山市

参加費： シンポジウム 無料, 交流会(茶話会) 500円※

(※交流会会場は福山市立大学生協食堂)

申込： 申し込みは必要ありません。当日おいでください。

問い合わせ先： コミュニティ政策学会事務局 office@jacp-official.org



【公共交通機関のご案内】

JR福山駅南口バスのりば②番のりば
中国バス「福山市立大学経由鋼管病院行」,
「福山市立大学行」で
「福山市立大学」下車, 徒歩 0 分
(片道 170 円)
または,
「旭ヶ丘団地行」, 「引野口行」で
「手城入口」下車, 徒歩 5 分
(片道 170 円)

【プログラム】

(1) 挨拶（開会式）

名和田是彦（学会会長 法政大学教授）
枝廣直幹様（福山市長）
田丸敏高様（福山市立大学学長）

(2) シンポジウム

＜報告およびディスカッション＞

① かさおか島づくり海社

【報告者】 鳴本浩二（特定非営利活動法人 かさおか島づくり海社 理事長）

【解説者】 池田憲太郎（笠岡市協働のまちづくり課 課長補佐）

島々をつなぐ島民有志の、島に住みつづけられるための活動（暮らし、交流、産業、学びサポート）。

② 尾道市山手地区

【報告者・解説者】 西川龍也（福山市立大学 教授）

空家再生と新たな正業。傾斜住宅の地で生活を楽しむ若き移住者たち

③ 福山市田尻地区（高島学区）

【報告者】 酒井良治，中山由子（田尻の未来を考える会）

【解説者】 前山総一郎（福山市立大学 教授）

地域自治組織をプラットフォームに、多様な人たち（新旧住民・Uターン者）・杏産物など
地域資源を総動員活用して「地域アクティブ化」へ

④ 福山市松永エリア

【報告者】 前田ミチコ（インターナショナルチーム）

【解説者】 村田民雄（特定非営利法人 NGO ひろしま 理事長）

外国籍定住者が「支援される側から支援する側」となって、地域一体化の活動（消防団等の活動）

⑤ 福山市鞆の浦

【報告者・解説者】 牧田幸文（福山市立大学准教授）

全国的観光・景観の地「鞆の浦」。そのコミュニティの独自の支えあいにより維持されている
固有の生活圏のありようを、地域福祉と生活の観点から考える。

○ 【レビュー】 小畑正和（福山市 まちづくりサポートセンター長）

【オーガナイザー】 前山総一郎（福山市立大学 教授・学会理事）

【司会コーディネーター】 乾亨（立命館大学 教授・学会副会長）

【コメンテーター】 名和田是彦（法政大学 教授・学会長），宗野隆俊（滋賀大学 教授・学会理事）

(3) 交流会（茶話会）

福山市立大学生協食堂（参加費 500 円） ※シンポジウム会場直結